

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)						
事業名	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための指導の手引き開発事業		担当部局	初等中等教育局		作成責任者		
事業開始年度	令和6年度	事業終了(予定)年度	令和7年度	担当課室	教育課程課	教育課程課長 常盤木 祐一		
会計区分	一般会計							
根拠法令(具体的な条項も記載)	学校教育法施行規則第52条(小学校) 同74条(中学校) 同79条の6(義務教育学校) 同84条(高等学校) 同108条(中等教育学校) 同129条(特別支援学校)		関係する計画、通知等	第4期教育振興基本計画(令和5年6月14日閣議決定)、中央教育審議会答申(平成20年1月17日)「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善について」、幼稚園教育要領(平成20年3月告示)、小学校学習指導要領(平成20年3月告示、平成27年3月一部改正)、中学校学習指導要領(平成20年3月告示、平成27年3月一部改正)、高等学校学習指導要領(平成21年3月告示)、特別支援学校助成費(平成21年3月告示)、特別支援学校小・中・高学習指導要領(平成21年3月告示、平成27年3月一部改正)、特別支援学校高等部学習指導要領(平成21年3月告示)、中央教育審議会答申(平成23年12月21日)「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方等について」、幼稚園教育要領(平成23年3月告示)、小学校学習指導要領(平成23年3月告示)、中学校学習指導要領(平成23年3月告示)、高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)、特別支援学校助成費(平成29年4月告示)、特別支援学校小・中・高学習指導要領(平成29年4月告示)、特別支援学校高等部学習指導要領(平成31年2月告示)、中央教育審議会答申(令和3年1月29日)「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」				
政策	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり		主要経費	教育振興助成費				
施策	2-1 確かな学力の育成							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_2-1.pdf							
事業の目的(5行程度以内)	全国の教育委員会や学校における取組の参考となる事例や知見の横展開を行うことで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の推進による「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の取組を促進する。加えて、これらの学びを踏まえた次期学習指導要領の検討やその下でのより良い学習環境の実現にも繋げていく。							
現状・課題(5行程度以内)	令和3年1月の中央教育審議会答申を踏まえ、各学校において「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組が進められてきているが、抽象的な理想像を具体的な実践のイメージに落とし込めていない学校もあり、進捗状況には各地域で大きなバラツキが見られる。このため、各学校が「個別最適な学び」と「協働的な学び」をどのように具体化していくのかははっきりとした推進イメージを持つことができるようにしていくことで、これから新たな取組を進めようとする学校や、現在の取組をより一層効果的なものとする学校を支援し、こうした学びを全国的に広げていくことが重要である。							
事業概要(5行程度以内)	民間事業等への委託により、全国の学校における、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の取組についての優れた先進事例を収集し、そこから得られた知見と合わせてまとめた手引きを作成し、周知を行う。また、その得られた知見については、文部科学省における次期学習指導要領の改訂に向けた検討の材料となるよう整理する。							
事業概要URL								
実施方法	直接実施、委託・請負							
補助率等								
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
		補正予算(B)	-	-	-	-	-	12
			-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-	12
執行額(G)	-	-	-	-	-	-		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-	-		
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)	初等中等教育振興費			・令和6年度新規要求			
	(目)	初等中等教育振興事業委託費		12				
	(目)	職員旅費		0				
	(目)	諸謝金		0				
		その他	-					
	計(A)	-	12					

活動内容① (アクティビティ)	全国の学校における、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の取組についての優れた先進事例を収集し、そこから得られた知見と合わせてまとめた手引きを作成し、周知を行う。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための指導の手引きの作成	掲載した事例の件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	10	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	手引きの活用状況を測るため、得られる定量的な数値である文部科学省HPの閲覧回数を成果指標として設定する。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度		
	手引きの活用の増加	文部科学省HPにおける手引きの閲覧回数	成果実績	%	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	30,000		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文部科学省HP									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	手引きの活用等を通し、各学校における「個別最適な学び」の実践が増加していくと考えられる。各学校の授業における「個別最適な学び」についての取組状況を測るため、小学校と中学校における定量的な指標を設定する。								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度		
	学校の授業における「個別最適な学び」についての取組の充実	全国学力・学習状況調査質問紙調査における「5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」という問いに対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(小学校・中学校の合計)	成果実績	%	-	-	77.6	-		
			目標値	%	-	-	-	90		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度全国学力・学習状況調査(出典:国立教育政策研究所)									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	各学校の授業における「個別最適な学び」についての取組が充実することで、児童生徒にとって学校で過ごす時間が充実していくと考えられる。学校で過ごす時間の充実度を測るため、小学校と中学校における定量的な指標を設定する。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度		
	児童生徒にとっての学校で過ごす時間の充実	全国学力・学習状況調査質問紙調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」という問いに対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(小学校・中学校の合計)	成果実績	%	-	-	84.2	-		
			目標値	%	-	-	-	90		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度全国学力・学習状況調査(出典:国立教育政策研究所)									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)	全国の学校における、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の取組についての優れた先進事例を収集し、そこから得られた知見と合わせてまとめた手引きを作成し、周知を行う。									
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための指導の手引きの作成	掲載した事例の件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	10	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	手引きの活用状況を測るため、得られる定量的な数値である文部科学省HPの閲覧回数を成果指標として設定する。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度		
	手引きの活用の増加	文部科学省HPにおける手引きの閲覧回数	成果実績	%	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	30,000		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文部科学省HP									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	手引きの活用等を通し、各学校における「協働的な学び」の実践が増加していくと考えられる。各学校の授業における「協働的な学び」についての取組状況を測るため、小学校と中学校における定量的な指標を設定する。								
成果目標及び成果実績②-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度		
	学校の授業における「協働的な学び」についての取組の充実	全国学力・学習状況調査質問紙調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」という問いに対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(小学校・中学校の合計)	成果実績	%	-	-	79.4	-		
			目標値	%	-	-	-	90		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度全国学力・学習状況調査(出典:国立教育政策研究所)									
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	各学校の授業における「協働的な学び」についての取組が充実することで、児童生徒にとって学校で過ごす時間が充実していくと考えられる。学校で過ごす時間の充実度合いを測るため、小学校と中学校における定量的な指標を設定する。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度		
	児童生徒にとっての授業における学びの満足度の向上	全国学力・学習状況調査質問紙調査における「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という問いに対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(小学校・中学校の合計)	成果実績	%	-	-	75.2	-		
			目標値	%	-	-	-	90		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度全国学力・学習状況調査(出典:国立教育政策研究所)									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容③ (アクティビティ)	全国の学校における、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の取組についての優れた先進事例を収集し、そこから得られた知見と合わせてまとめた手引きを作成し、周知を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績③ (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための指導の手引きの作成	掲載した事例の件数	活動実績	件	-	-	-	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	-	10
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	手引きの活用状況を測るため、得られる定量的な数値である文部科学省HPの閲覧回数を成果指標として設定する。							
成果目標及び成果実績③-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度	
	手引きの閲覧者の増加	文部科学省HPにおける手引きの閲覧回数	成果実績	回	-	-	-	-	
			目標値	回	-	-	-	30,000	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	文部科学省HP								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	手引きの活用等を通し、各学校における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践が増加していくことで、児童生徒の主体的・対話的で深い学びが実現していくと考えられる。 各学校の授業における主体的・対話的で深い学びの実現状況を測るため、小学校と中学校における定量的な指標を設定する。							
成果目標及び成果実績③-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度	
	主体的・対話的で深い学びの実現状況の向上	全国学力・学習状況調査質問紙調査における「5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という問いに対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(小学校・中学校の合計)	成果実績	%	-	-	78.3	-	
			目標値	%	-	-	-	90	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	令和4年度全国学力・学習状況調査(出典:国立教育政策研究所)								
↓	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	各学校の授業における児童生徒の主体的・対話的で深い学びが実現されることで、児童生徒にとって学校で過ごす時間が充実していくと考えられる。 学校で過ごす時間の充実度合いを測るため、小学校と中学校における定量的な指標を設定する。							
成果目標及び成果実績③-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
	児童生徒にとっての学校で過ごす時間の充実	全国学力・学習状況調査質問紙調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」という問いに対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(小学校・中学校の合計)	成果実績	%	-	-	84.2	-	
			目標値	%	-	-	-	90	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	令和4年度全国学力・学習状況調査(出典:国立教育政策研究所)								
アウトカム設定についての説明	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								

文部科学省
12.0百万円

〔 諸謝金 0.1百万円
職員旅費 0.3百万円 を含む 〕

〔 実践研究の企画・評価、
実地調査の実施 〕



委託【随意契約(企画競争)】

A. 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための指導の手引き開発」

民間企業等
11.6百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
手引き作成費	手引きの編集、動画作成	9.7			
諸謝金	会議出席謝金、指導・助言謝金	1			
旅費	実地調査、ヒアリング	0.9			
計		11.6	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック